



本日正会員27名、子ども会員7名で活動しました。まずはじめに、アズマネザサと葛が蔓延ってしまった大畔の森の草原エリアを今後どうしていくのかを会員で話し合いました。その後、大畔の森では清掃、垣根剪定、粉碎機稼働、穴を掘りながらアズマネザサと葛の根っこの駆除、次回より行われる農業体験の準備を、西初石小鳥の森では清掃を行いました。



穴を掘りながら根っこを駆除します。引っ張ってもなかなか抜けません。根っこvs人間の戦いです。抜いた根っこは乾燥させて燃やす予定です。



粉碎作業。
今日は無花果や柿の枝を粉碎しました。

大畔の森で活動を始めた10数年前から数年前までは、何も問題を感じることなく過ごしてきた草原。しかし、数年前ぐらいから葛やアズマネザサが進出してくるようになり、虫や植物たちにも影響を与えるようになってきました。草刈りの頻度も少なかったこと、地面より5~7cm上を刈っていたことが影響したのかもしれませんが。

そこで今回、どういう草原にしていきたいのか、そのためにどういう作業をこれからしていっていいのかわかりました。

話し合いの末、アズマネザサや葛を全て駆除するのは難しいけれど、できるだけ広がらないように地面に近いところで刈ってみようということになりました。

「穴を掘って、アズマネザサと葛の根っこを駆除する」というやり方もあるそうで、ある一部だけはその方法でやってみることにしました。いろんなことを試しながら、以前のような草原になるよう、作業をしていきたいと思っています。



子どもたちは遊びの天才です。突如現れた穴をみて、一人がジャンプし始めると、僕も、私も、とみんなでジャンプ！掘ったばかりで土もフツフツ！土で真っ黒になるまで遊びました。



イヌツゲの剪定。
ようやくこの剪定にも取り掛かることができました。



畑では次回から始まる農業体験の準備をしました。今年じゃがいもを植えて収穫します！